

＜募集要項＞
令和5年度

地域戦略人材塾

大正大学 地域構想研究所



小峰 隆夫

大正大学 地域構想研究所 教授

この塾では、地域創生を目指す場合に、有効な手段のオプションを提供し、塾生の皆さんにそれを身に着けて欲しいと考えています。経済社会を取り巻く環境は目まぐるしく変化しており、その中から新しいアイデアが生まれてきています。もちろん、こうした手段をどう組み合わせるかは、各地域が自らの判断で意思決定して行くべきことです。

この塾では、その判断の選択肢を豊かにすることによって地域創生をサポートして行きたいと考えています。皆さんの積極的な参加をお待ちしています。

1. 目的

本塾のテーマ

「地域の垣根を超えて、 地方創生の最先端手法を実践的に学ぶ」

- ・地方創生の最先端の手法（ナッジ、フューチャー・デザイン等）を学び、
有効な手段のオプションを提供する
- ・他自治体とディスカッションすることによる、地域の垣根を超えた視野の拡大機会を提供する

2. 内容

令和5年度は、これまでの受講の内容から一部を組み替え全16回（約10ヶ月）の講義でお届けします。

自治体の職務に役たつものや、より先端的手法を学ぶことで、各自治体の課題解決に向けた実践知を身に着けることを目的としています。また、各教科の分野について造詣の深い専門家の招聘や、国の最新の政策動向について各省庁の担当官から情報提供を受ける機会も提供していきます。

3. 受講資格

原則として、本学と包括連携協定を締結している自治体または地域共創コンソーシアムに加盟の自治体で、当該自治体の将来を担う若手及び中堅の職員

募集人数： 20自治体程度（科目ごとの単科参加も可能）

4. 参加自治体からの声

- ✓ これまで新聞や雑誌の記事に目を通しても読み飛ばしていた内容や言葉が、この研修を受講したことで、目に留まる記事が多くなり、学んだことが政策に役立ってるのではないか、という思考をするようになった。
- ✓ 最新の内容をうかがい知ることができ、見識が広がった。自治体職員は普段他の自治体の方々と話す機会がほとんどなく、今回の全国の人材塾の方々と話すことが新鮮で、良い刺激になった。グループワークの時間の雑談がとても楽しく、自治体職員仲間の輪が全国にできた気がした。話しやすかったです。
- ✓ 日々目の前の日常業務に追われている者にとって、先進的な初めて聞くお話が多かったが、わかりやすく解説してもらったので内容は理解できた。
- ✓ 他の自治体の皆さんとのワークで、その取り組みが自自治体でも生かせそうな内容があり、現業に活用できそうに思える。ただ、そのツールをどうやって現場に落とし込んでいったか（ノウハウやそのプロセス、持って行き方）を失敗例も含め情報共有して頂ければありがたい。

5. 受講方法

(1) 講義時間

平日(水曜日)の業務終業後約90分を1コマとし、ディスカッション30分を含む。

一つのテーマは2コマ(2週分)で完結するものとする。

(2) 実施時期

5月～2月の月1～2回程度開催

(3) 受講形式

オンラインによる講義が基本でグループワークを含む。

受講方法およびZoomのURLは申込者にメールで別途お知らせ。

6. 講座スケジュール

1. スタートアップセッション

日程		開始	終了	時間	講座名	内容	講師
5月24日	水	17:30	17:40	10	開講挨拶	新型コロナウイルスは終息しつつありますが、これを契機に、日本の少子化、人口減少はさらに加速しています。国の異次元少子化対策を評価し、地域はこれにどう対応すべきかを考えます。	大正大学 地域構想研究所 教授 小峰隆夫
		17:40	19:05	90	【開校講義】 人口減少下の地域		

2. ナッジ

日程		開始	終了	時間	講座名	内容	講師
6月14日	水	17:30	19:05	95	今、政策現場で着目されているナッジを学ぶ	「軽くつつく」といった意味を持つ行動経済学のナッジ（nudge）。昨今は公共政策において、ナッジが幅広く活用されており注目されている。本講では、ナッジの基本的な理論を学び、自治体の政策にどのように生かせるかなど事例を交えて考えていく。	NPO法人PolicyGarage 代表
6月28日	水	17:30	19:05	95	行動経済学とナッジ 講義と実践	具体的な地域課題を題材として、どのようにナッジを政策に組み入れていくのか？その手順をグループワークを中心とした実践で体験してみる。	津田宏和

6. 講座スケジュール

3. 自治体DX

日程		開始	終了	時間	講座名	内容	講師
7月12日	水	17:30	19:05	95	デジタルの力を活用した地域経済の活性化に向けて（仮） 国のDX政策の最新	高齢化・人口減少や新型コロナの感染拡大等の影響により、地域経済は極めて厳しい状況に直面しているが、社会のデジタル化を背景として、テレワークが普及し、地方移住への関心が高まるなど、新たなチャンスも到来しているといえる。本講義では、2022年12月に策定された「デジタル田園都市国家構想総合戦略」等に基づく政府の取組や地方における優良な取組事例の紹介等を通じて、デジタルの力を活用した地域経済活性化の可能性について検討する。	内閣官房デジタル田園都市国家構想実現会議事務局 参事官（総括担当） 太田哲生
7月26日	水	17:30	19:05	95	デジタル甲子園の実例 デジタルグリーンシティ～前橋の取組～	前橋（前橋市及びめぶくグラウンド等民間団体）は、官民共創のまちづくりをベースに、行政でも民間でも活用できる法的根拠のあるスマホに搭載できる現在唯一の統合ID（めぶくID）をベースとしたデジタル基盤整備やDXにより、デジタル×スローシティ（違いは豊かさ）をコンセプトに、デジ田交付金TYPE3の2年連続採択や夏のDigi田甲子園優勝を踏まえ、誰一人取り残されないWell-Beingを享受する新しい共助型未来都市（デジタルグリーンシティ）の実現を目指している。	デジタル庁企画調整官 （前）前橋市スマートシティ推進監 谷内田 修
8月2日	水	17:30	19:05	95	行政デジタル推進の実践事例	日本情報通信株式会社（NI+C）は、自社で培ったDXのノウハウをもとに、2021年から自治体のDXや業務変革を共に推進することを目的とした専門組織を創設。地方創生人材支援制度を利用し、現在13の自治体をご支援させていただいております。 今回の講義では、支援先自治体におけるDX人材育成の取り組みやDX推進の実践例、それらの活動からの気づきをご紹介しますことで、皆様のDX推進のお役に立つことができればと考えております。	日本情報通信(株) 執行役員 DX推進部 デジタル行政推進担当部長 坂田 勝史

6. 講座スケジュール

4. フューチャー・デザイン

日程		開始	終了	時間	講座名	内容	講師
9月13日	水	17:30	19:05	95	まちづくりの対話に「仮想将来世代」を組み込む、新しい手法	持続可能な自然と社会を将来世代に引き継ぐための社会制度のデザイン手法である、フューチャー・デザイン。本当に将来世代の利益のために思考し、行動するようになるための政策手法を事例を交えながら学ぶ。	総合地球環境学研究所特任教授／ 高知工科大学フューチャー・デザイン 研究所長 西條辰義
9月27日	水	17:30	19:05	95	フューチャー・デザイン 講義と実践	第2回では、同概念を自治体としていち早く取り入れた先駆的な岩手県矢巾町様の実践事例を伺いつつ、2050年の日本に飛んで未来人になるワークを行います！ 事前に「2050年の日本はきっとこうなっているんだろうな…」ということ、全くの妄想レベルで構いませんのでご自身で事前に一度想像してみてください当日の講義に参加していただく予定です。漠然としたイメージでも、具体的に浮かんだ断片的な光景でも何でも構いません。私の経験では、仕事を離れてリラックスしているときの方が想像しやすいです。これをやっていただけると、ワークがだいぶ面白いものになります！	岩手県矢巾町 企画財政課 課長補佐 高橋雅明

6. 講座スケジュール

5. 地域ブランディング

日程		開始	終了	時間	講座名	内容	講師
10月11日	水	17:30	19:05	95	地域マーケティング オンライン物産会	新型コロナウイルスによる人々の生活変化は、今までにないニューノーマルに対応した商品やサービスの誕生につながった。地方の特産品も同じくである。この授業では、最新の地域マーケティング手法を商品開発の視点も加えながら学んでいき、その手法を実際の物産に当てはめて実践してみようを試みる。初回講義までに、各自治体で一つ売り出したい物産品を選んできてもらい、初回講義をもとにどう商品のPRを考えてもらう。2回目には、各自治体から1分プレゼンをしてもらう予定である。	大正大学地域構想研究所教授 (株)ものづくり研究所代表取締役
10月25日	水	17:30	19:05	95			北條 規

6. 多様な人材の活用

日程		開始	終了	時間	講座名	内容	講師
11月8日	水	17:30	19:05	95	セカンドキャリアと地域での活躍	2023年夏以降、情勢を鑑みて最新テーマをご案内します。	法政大学大学院 政策創造研究科教授 石山恒貴
11月22日	水	17:30	19:05	95	外国人労働者の地域活用	2023年夏以降、情勢を鑑みて最新テーマをご案内します。	大正大学 教授 塚崎裕子

情報交換会（オンライン物産会）

12月13日 (予定)	水	17:30	19:05	95	情報交換会 オンライン物産会	10月に実施する「地域マーケティング」の回では、各自治体が自分たちのおすすめ物産品のプレゼンを行います。その際に、投票によって5つの商品（予定）を選びます。12月の「情報交換会」では、投票で選ばれた商品の実物を受講自治体の皆様のお手元にお届けしますので、当日は「オンライン物産会」として、情報交換をしながら物産品を楽しんでいただきます。	
----------------	---	-------	-------	----	-------------------	--	--

皆様、年末のご多忙な時期になりますので、日程の調整or変更をする場合もございます。

6. 講座スケジュール

【特別講義】★全連携自治体 参加可能★

日程	開始	終了	時間	講座名	内容	講師
1月	17:30	19:10	90	マーケットデザイン 制度設計の科学	マーケットデザインは、数理的なモデルを分析して最適な制度を設計する、いま理論経済学で最も注目されている分野である。講義編では、マーケットデザインとはどういう学問なのか、活用することでどういったことが達成できるのかについて紹介する。単に理論を解説するのみならず、講師のチームがこれまで取り組んできた地方自治体への社会実装事例についても紹介する。	東京大学マーケットデザインセンター (UTMD) プロジェクトマネージャー 野田俊也

7. 視察&総括会

日程	開始	終了	時間	講座名	内容	講師
1月予定				先進事例 現地視察会	2023年夏以降、情勢を鑑みてテーマおよび、視察地を確定します。	
2月予定				リアルとオンラインの併用交流会	2023年夏以降、情勢を鑑みてテーマを確定します。	

7. 申し込み方法

以下のいずれかの方法にて受け付けております。

▼下記のHP下部に記載フォームよりお申込みください。
<https://chikouken.org/topics/news/14153/>

または右記のQRコードよりお申込みください。



▼メールでお申し込みの場合

宛先：chikouken_office@mail.tais.ac.jp

件名：【申込】令和5年度地域戦略人材塾

内容：以下の項目について、それぞれご記載ください。

1. 自治体名
2. 受講者所属部署
3. 受講者氏名
4. メールアドレス
5. 電話番号
6. その他ご連絡事項

8. その他

申し込み〆切

令和5年3月29日（水）

受講料

¥50,000 – / 1自治体（別途振込手数料）

※申し込み後、3月末に振込先口座等の支払方法をご案内します

※本学と連携以外の自治体は¥80,000

問合せ

〒170-8470 東京都豊島区西巣鴨3-20-1

大正大学 地域構想研究所 事務部 担当 山本恭久

TEL : 03-5944-5482

FAX : 03-5394-3055

Mail : chikouken_office@mail.tais.ac.jp